

平成29年度第2回総合教育会議

地域共存～地域で子どもを育てる～

長久手市教育大綱

人間力を育み

いつまでも健やかで夢と生きがいを持ち 成長できる人づくり
～自然共生・地域共存・多様性尊重～

教育方針

- 1 自然の大切さ、命の尊さを学び、自然と共生する
- 2 地域で家庭や学校を支え、関わり合いながら、向上心をもって、ともに成長する
- 3 多様な人々の存在や価値観を認め合い、まざって暮らす

◆平成27年度総合教育会議での「地域共存」についての振り返り

- ・「人間力」は、「自主自立」「主体的思考」「自己肯定感がある」「公共心」「道徳心」とも言える。「人間力」がある人は、「多様な価値観を持ち、公共心があり、主体的な思考ができる人」とも定義できる。
- ・地域で教育を支えていくことが必要。
- ・「自然共生」「地域共存」は、「公共心」という言葉で言い換えることができる。
- ・地域共存のためには、多様な価値観を共有し（認め）、人々の存在を認め合う。
- ・家庭教育、社会教育、学校教育において、現在欠如しているものは、「自然との共生」「地域との共存」である。
- ・地域、家庭は本来、「時間に追われない国」の価値観であるべきところを、大人たちは会社などに必要な「時間に追われる国」の価値観になっている。
- ・「地域との共存」は、わずらわしくても他者と関わり、助け合う必要がある。本市に住んでいたら、これは人としての義務になるくらいのもの。

地域全体で、子どもを育てる地域づくりが求められますが、「地域における子どもとのコミュニケーション=該当しない」と考えている人も多く、自身の家庭に子どもがいない場合は、「地域の子ども=関係ない」と捉えている人が多いと思われます。

参考：「ながくて幸せ実感アンケート／H28.12月実施」

市内在住 18 才以上 配布数:5,000 有効回答率 51.4%

問 子どもとのコミュニケーションは十分取れていると思いますか

